

独立行政法人 国際協力機構
Japan International Cooperation Agency



福山城(広島県)

JICA 中国国際センターの「異文化体験教室」をごぞんじですか？

JICA中国国際センターが東広島市の広島中央サイエンスパーク内に1997年4月に開所して8年目を迎えましたが、平成16年度当センターの視察見学のため訪れたグループ数は平成15年度に比較して大幅に増え、30グループを上回りました。訪れたグループは広島県内からの小学生、中学生、高校生が中心ですが、なかには岐阜県の中学生のグループも広島市内の訪問とあわせ訪れました。

昨今、学力の国際比較で日本の順位が下がったこと等を背景に「総合学習」の見直しが検討されておりますが、当センターへの訪問者が増加した背景には、その総合学習の授業の一環として、国際理解教育を取り組まれている学校の先生方から当センターが行っているプログラムを評価していただいた結果だと大変喜んでおります。数年前は、「施設見学」の言葉どおり、JICAの事業説明と館内見学の所要時間も1時間程度の内容でしたが、現在のプログラムは別掲のとおり、参加型学習を取り入れた国際理解教育、青年海外協力隊のOB/OGによる体験談、海外から技術研修のため来日している研修員との交流など(小学生には食や服装などの異文化体験が中心)プログラムを充実させ、少なくとも3～4時間を要するものになっております。JICAでは、中学生や高校生を対象とした地球的

課題やボランティア活動などをテーマにしたエッセイコンテストを毎年実施していますが、入賞者および学校に表彰状を授与するために訪問する際に、当センターの施設を見学することが可能なことを紹介しております。広島県以外の鳥取県、島根県、岡山県、山口県からの訪



民族楽器

問も大歓迎します。ある中学生の感想文には「想像していたよりセンターで働くスタッフが堅苦しくなく、どの人も笑顔で、国際協力の仕事を好きでやっているということが伝わってきた」と記してくれました。なお、施設見学を「JICA中国異文化体験教室」にネーミングを変更して平成17年度取り組みたいと思います。

JICA 中国国際センター所長 熊倉 晃



民族衣装

プログラム(例) 高校生対象

内 容	
10:00	JICA中国到着
10:00～11:00	JICA事業及びセンターの役割について
11:00～11:30	館内案内
11:30～12:30	昼食(エスニック料理パイキング)
12:30～13:30	青年海外協力隊体験談
13:30～13:40	休 憩
13:40～15:00	ワークショップ～援助について考える～
15:00～15:15	振り返り・挨拶

JICA中国は、隣接する広島大学と連携して「教育」関係の研修コースを多く実施していますが、今回はその中で今年2月に開始したアフリカ地域を対象とする「研究と対話による自立的な基礎教育開発の促進（以下、「アフリカ研究と対話」）」コースを紹介しします。

*基礎教育は、幼稚園、小学校、中学校の他、成人への識字教育やノンフォーマル教育も含めたものです。

アフリカ地域の教育？

同地域では15歳以上の10人に4人は字が読めません。また、小学校学齢期の10人に4人は就学できていません。このような中、先進国や国際機関は、学齢期の子どもが全員学校に行けることや教育の質を良くすることを目指し、教師を研修したり学校を建設したりと協力を進めていますが、子どもの数の増加や言語・社会風土の違いなどもあり、アフリカの開発はなかなか思うように進んでいません。

では、誰が子どもたちを助けるの？

途上国はこのような先進国や国際機関の協力を頼ってきました。しかし、近年アフリカ諸国の指導者達が集まり、自国の開発のために自分達の努力と連携が重要であることを確認しました。アフリカの子どもたちを助けるのは誰か？そうです、それは何よりその子どもたちの親やおなじ国の人達なのです。

では、どうやって助けるの？

まずは何がどのくらい問題なのかを知る必要があると思います。それを一番身近に感じられるのは教師だと思えますが、学術的・体系的に調査できるのは大学の研究者ではないでしょうか？そして、大学は調査結果を教職員の養成や政策・実践に反映させることもできます。

そこで研修コースでは...

アフリカ地域から自国の基礎教育開発に貢献したいという意欲と実績を持った研究者に同じ国の行政官とともにアジアを訪問してもらい、各国の教育を見て、自分達の大学が何をできるのかをアジアの大学研究者と意見を交換しながら考えてもらいました。今後、その経験を活かして、政策・実践に関する調査研究をしてもらう予定です。

どうやって考えてもらうの？

広島大学教育開発国際協力研究センターが中心になり、他の大学の研究者にも参加してもらいました。また、従来の研修コースは日本でのみ行っていますが、このコースでは日本に来る前にインドに立ち寄り、そこでは国立教育計画行政研究所の協力を得ました。さらに、約1週間国連大学本部（東京にあります）で国際的な研究者と意見交換もしました。多くの研究者が意見交換を通じて、アフリカの研修員に考えるきっかけを提供しました。



研修員と日本の大学研究者による合同ワークショップの風景

皆様にも...

私たちの研修コースに色々な形で参加してもらえればと思います。「教育」関連コースでは、広島大学、教育委員会、教育センター、訪問先学校など地域の教育関係者の皆様から、また教育関係者以外の方々からもホームステイの受入や地域との交流会への参加などの協力をいただいております。これからも地域の皆様には研修員と一緒に考え、楽しみ、驚き、そして何かを発見してもらえればと思います。

あなたの街の国際協力推進員

JICA国際協力推進員とは?

私たちはJICAと地域の連携強化を図るために、JICAデスクとして各都道府県国際化協会へ配置され、地域の特色を活かした国際協力に取り組んでいます。地方自治体、NGO、教育関係、そして地域の人々が、JICAと一緒に国際協力を進めるためのパイプ役です。

「JICAってどんなことをしてるの?」「青年海外協力隊に参加したい!」「開発途上国について知りたい!」「開発教育ってなに?」などなど、皆さんの疑問・質問にお答えします。

国際協力に興味のある人、情報収集をしている人、実際にチャレンジしたい人、すでにがんばっている人、お気軽に私たちに声をかけてください!

島根県

(財)しまね国際センター

TEL:0852-31-5056

FAX:0852-31-5055

配置先住所:〒690-0826

島根県松江市学園南1-2-1

くびきメッセ2F

E-mail:jicadpd-desk-shimaneken@jica.go.jp

URL: <http://www.sic-info.org/>



長富 邦恵

青年海外協力隊OG

派遣国:バングラデシュ

職 種:家畜飼育

鳥取県

(財)鳥取県国際交流財団

TEL:0857-31-5951

FAX:0857-31-5952

配置先住所:〒680-0947

鳥取県鳥取市湖山町西4-110-5

鳥取空港国際会館1F

E-mail:jicadpd-desk-tottoriken@jica.go.jp

URL: <http://www.torisakyu.or.jp/ja/index.html>



大嘉 麻子

青年海外協力隊OG

派遣国:ジンバブエ

職 種:青少年活動

山口県

(財)山口国際交流協会

TEL:083-925-7353

FAX:083-920-4144

配置先住所:〒753-0811

山口県山口市吉敷3185-1

E-mail:jicadpd-desk-yamaguchiken@jica.go.jp

URL: <http://www.yiea.or.jp/>



鈴木 博子

青年海外協力隊OG

派遣国:セネガル

職 種:野菜栽培

岡山県

(財)岡山県国際交流協会

TEL:086-256-2917

FAX:086-256-2226

配置先住所:〒700-0026

岡山市奉還町2-2-1

E-mail:jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp

URL: <http://www.opief.or.jp/>



藤本 裕美

青年海外協力隊OG

派遣国:セネガル

職 種:家政

広島市

(財)広島平和文化センター

TEL:082-242-8879

FAX:082-242-7452

配置先住所:〒730-0811

広島市中区中島町1-5

E-mail:jicadesk@pcf.city.hiroshima.jp

URL: <http://www.pcf.city.hiroshima.jp/ircd/index.cgi>



堀田 映子

青年海外協力隊OG

派遣国:トンガ

職 種:珠算

広島県

(財)ひろしま国際センター

TEL:082-541-3777

FAX:082-243-2001

配置先住所:〒730-0037

広島県広島市中区中町8-18

広島クリスタルプラザ6F

E-mail:hic06@hiroshima-ic.or.jp

URL: <http://hiint.hiroshima-ic.or.jp/hic/>



田中 順子

青年海外協力隊OG

派遣国:グアテマラ

職 種:観光業

各県 国際協力推進員の動向

私たちはJICAと地域の連携強化を図るために、JICAデスクとして各都道府県国際化協会へ配置され、地域の特色を活かした国際協力に取り組んでいます。

島根県

2月22日、島根県民会館にてJICAボランティア参加者の帰国報告会を開催しました。島根県からは、これまで225名の方、JICA ボランティアとして各国に派遣されています。今回は帰国間もない青年海外協力隊OG三浦恵美さん、引野里絵さん、さらにフィリピンで青年海外協力隊の活動現場を視察された島根県環境生活部国際課の土屋高明さんからも報告を頂きました。アジアのモンゴルでの話、中南米のコスタリカの話、様々な文化や風土、そこに暮らす人々の様子と共に活動を語る皆さん、「世界は広い!」としみじみ感じることできる報告会でした。派遣された国では価値観の違いに戸惑い、ご苦労されたことも多かったようです。しかし、多くの苦労と共に生まれた任地の人達との

信頼は貴重な宝物にもなったようです。活動現場を視察をされた土屋さんの報告は、任地で活動に励んでいる協力隊員達を励まし、また報告会に来訪された皆さんの興味を湧かすものでした。

このように、開発途上国や JICA ボランティアについて、興味を持っていただける機会を今後も設けて行きたいと思っています。皆さんもこの機会をお見逃しなくご参加下さい。お楽しみに!



報告会の様子：報告者（三浦恵美さん）

鳥取県

鳥取インターアクトクラブ国際ボランティア会「やってみよう! 国際理解ワークショップ」開催!

1月15日 倉吉体育文化会館研修室1,2で、「やってみよう! 国際理解ワークショップ」が開催され、米子工業高等学校、米子松蔭高等学校、鳥取敬愛高等学校、倉吉北高等学校の4校からインターアクトクラブ(国際ボランティア会)部員、顧問の先生方など36名が参加しました。

今回のワークショップは、地域の国際化を目指し行動していける人材を育てるため、高校生が「自分でできる地域の国際化」について考え、行動していけるきっかけを提供することを目的に開催されました。

参加型異文化体験ゲーム“Bafa Bafa”では、2つの国(国と国)を設定し、擬似的に異文化に遭遇する状況を作り出すことで、自分と異なる文化への感じ方、行動を振り返り、異文化間の交流のあり方を考えてもらいました。最初は、はずかしがっていた高校生や先生たちも、いつの間にかそれぞれの国の住人になりきっていました。

ファシリテーターは、鳥取県内在住の青年海外協力隊OG2名。それぞれの異文化体験談をふまえて、全員で、ワークショップの振り替えりを行いました。「話を聞くだけかと思ったら、楽しいゲームなどを取り入れて、異文化体験ができたし、勉強になった。自分のこととして考えることができたのでよかった。」など感想をいただき、大変盛り上がったワークショップとなりました。



参加者の鳥取県内高等学校



“Bafa Bafa”の準備のため、



ファシリテーターの青年海外協力隊OG2名

岡山県

平成16年度の活動について

JICAブース：国際協力関係のイベントに参加する機会が増えました。途上国のお茶を飲んだり、楽器をさわったり、衣裳を着たり、普段遠い存在と思われやすい途上国を楽しく身近に感じてもらえたと思います。

青年海外協力隊特別説明会：要請数の割に派遣数の足りない理数科教師、体育、家政などの職種について実際に体験談を聞いてもらうため、県内大学で計3回開催しました。参加された学生さんたちはみな熱心に聞いてくれ、将来協力隊に行きたいという感想をたくさんもらいました。

JICA国際協力出前講座：料理を食べながら宗教の話をしたり、太鼓をたたきながら祭の話をしたり、民族衣装を着て気候の話をしたり、握手をして人々との触合いの話をしたりと身近な話題をきっかけにして青年海外協力隊の2年間の話をたくさんしました。「アフリカに行ってみよう」

「協力隊に行ってみよう」という感想をもらいました。こうやって学校などでじっくり話をすることが将来の夢や国際理解につながってくれたら良いと思います。

今後も、JICAや青年海外協力隊のことをもっと身近に感じて興味を持ってもらうように活動していきたいと思っています。



広島県

平成16年度国際理解教育セミナー終了!

昨年度に引き続き、今年度も国際理解教育セミナーは大好評に終わりました。合計で76名の申し込みを頂き、第1回39名、第2回35名、第3回21名、第4回32名、第5回28名の方にご参加頂きました。参加者の中にはワークショップ経験者が殆どを占め、来年度からは、スキルアップ編も検討していきたいと思っています。今回は有り難い事に、全回参加者が9名でした!来年度も、参加者に満足頂ける内容のセミナーを企画していきたいと思っています。来年度も引き続きよろしくお願い致します。

カンボジア・スタディーツアー出発!

ひろしま国際センターとの共催によるカンボジア・スタディーツアーを、今年度初めて開催するに至りました。下は18歳の高校生から上は66歳の

合計27名の方に参加いただきまして、カンボジアでのボランティア活動やNGO活動の視察をしていただきました。帰国後一人でも多くの方が国際協力の分野で活躍されることを祈念致します。



広島市

「国際理解セミナー」開催!

3月18日(金)、広島平和文化センター(国際会議場)において『国際理解セミナー』が開催されました。

『国際理解セミナー』は、広く一般市民を対象に、国際情勢・異文化理解などに関する講演会を開催し、市民の国際感覚の醸成や国際理解の推進を図るもので毎回好評をいただいています。

今回は「メディアが伝えないアフガンの現状～国際協力の21年～」と題し、1984年から21年にわたり、パキスタンやアフガニスタンを中心に医療活動をしているペシャワール会現地代表：中村哲さんに、現地での

医療活動を通して目の当たりにしたアフガンの現状について講演していただきました。不屈の意志でアフガン難民診療や干ばつ対策としての水資源確保事業に取り組む中村氏の熱意と活動に、参加者から感動の声が寄せられました。

(財)広島平和文化センターは、今後も広く市民の方に「国際協力・交流」について考える・触れる・行動するきっかけの場を設けて参ります。

HPはコチラ <http://www.pcf.city.hiroshima.jp/>



活躍の中村哲さん

山口県

3月になり、春が近づいたり遠のいたりしている山口県ですが、夜明けの早さに確かな時の流れを感じています。

平成17年度は国際理解教育講座の開催、地域NGOネットワーク構築などの活動を通じてよりいっそう地域に根ざした活動を行っていかたいと思っています。特に国際理解教育講座の開催は受講者同士のネットワークが構築され、また、大学生が主体で行う関連の講座など、受講者の主体性ができつつある大切な年だと思っています。地域の方達が自分たちで国際理解教育を推進していこうとする動きを大切に見守りつつ、さ

らなるスキルアップを目指して講座を開催していきたいと思っています。ご興味のある方、ぜひふるってご参加ください。

また、(財)山口県国際交流協会には様々な国際活動や地域活動に関する情報があり、国際理解教育の教材などの貸し出しも行っていきます。こちらのほうもぜひ、ご活用いただければと思います。たくさんの方のお越しをお待ちしております。



東広島市になった安芸津の海を見下ろす高台でブータンからの研究員が果樹栽培を学ぶ

東広島市は、平成17年2月7日に黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町及び安芸津町と合併し、新しい東広島市としてスタートしましたが、その同じ日に合併したばかりの安芸津町で技術研修を開始した JICA 研修員を紹介します。その研修員はブータンから来日した KHAMPA Khampa さんです。約3ヶ月の間、安芸津町にある広島県農業技術センター・果樹研究所において研修を受けることになりました。ヒマラヤ山系にある山国のブータン国の東部ルンチ・モンガル県において JICA がブータン国と協力して実施している農業試験研究・普及支援計画のブータン国側のスタッフである KHAMPA Khampa さんは、梨・みかん等の栽培を農家に指導・普及するために必要不可欠な技術(接ぎ木・整枝など)を学ぶために来日しました。

KHAMPA Khampa さんは、普段は大人しい方ですが、こと農業に関することになると非常に熱心で質問も多いと、指導する農業技術センターの大幡(おおばん)さん(元ネパール青年海外協力隊員)も感心しています。毎日バスで安芸津の海を見下ろす高台の農業技術センターまで通う KHAMPA Khampa さんは、「今、梨・みかんの肥料や剪定の研修を

行なっています。日本では、海も初めて見ましたし、枇杷などブータンでは珍しい柑橘類も見るができます。現地では学べない様々な技術が日本では体験できますし、帰国して農家に普及できることが楽しみです。」山国出身なので寒さは大丈夫とのことですが、ブータンに残している二人の子供が恋しくて寂しくなることもある様子です。西条・安芸津間のバスの中で KHAMPA Khampa さんを見かけた際には、声をかけていただければ幸いです。



教員隊員は帰国後の活動が命!?

～ 青年海外協力隊現職教員特別参加制度による派遣教員2名の事前研修会を広島県・広島市教育委員会が開催! ～

平成17年度は、広島県から2名の教員が、「青年海外協力隊現職教員特別参加制度*」により青年海外協力隊活動に参加されます。広島県教育委員会では、同制度による協力隊参加を正式に「海外派遣研修事業」の一環として位置づけ、選考から派遣中・帰国後のフォローアップまで継続した支援を JICA と協力して行うこととなりました。

今回の事前研修会は、派遣される教員の方に派遣の意義と目的を再確認していただき、帰国後期待されている「学校現場における協力隊経験の還元」について意識を高めることを目的として、2月18日に開催されました。午前中、今回派遣予定の松本辰夫先生(広島県立沼南高)と沖田康晴先生(広島市立伴南小)により、これまでの教育活動を踏まえた協力隊参加への熱い思いと、帰国後の抱負が発表されました。午後には、既に帰国されている県内の協力隊 OB・OG 教員16名も加わり、協力隊 OB 教員による授業実践報告も行われました。研修会最後の振り返りでは、先輩隊員たちのすばらしい授業実践報告に刺激され決意を新たにされた松本・沖田両先生の姿や、隊員時代の熱い気持ちを

思い出し、それを子供たちに伝える為に、更なる工夫を決意された OB・OG 教員の方々の姿が印象的でした。

*「青年海外協力隊現職教員特別参加制度」とは、より多くの教員の方々に現職で青年海外協力隊に参加していただくことを目的として、文部科学省と JICA により派遣期間や応募手続きを独自に設定した制度です。平成13年度の制度創設以来、広島県からは3名、全国では115名の教員の方が派遣されています。





春募集スタート!! 青年海外協力隊 & 青年海外協力隊短期派遣 シニア海外ボランティア & シニア海外ボランティア短期派遣

今回から新しく短期派遣の募集もスタート!!

	青年海外協力隊 【青年海外協力隊短期派遣】	シニア海外ボランティア 【シニア海外ボランティア短期派遣】
募集期間	平成 17 年 4 月 10 日(日)～ 5 月 20 日(金)必着 【平成 17 年 3 月 28 日(月)～ 5 月 7 日(土)消印有効】	
応募資格	満 20 歳～ 39 歳(平成 17 年 5 月 20 日現在) 【5 月 7 日現在】までの日本国籍を持つ方	満 40 歳～ 満 69 歳(派遣時)までの日本国籍を持つ方
選考試験	一次選考: 筆記(技術・語学など)及び 健康診断書類検査(6 月 5 日) 二次選考: 面接、健康診断(7 月中旬) 【一次選考: 書類審査 / 二次選考: 面接】	一次選考: 書類審査(技術・健康診断書) 二次選考: 面接、語学試験及び健康診断(7 月～ 8 月) 【一次選考: 書類審査 / 二次選考: 面接】
派遣国	アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中近東	
派遣期間	原則として 2 年間 【原則数週間～ 1 年未満】	原則として 1 年ないし 2 年間 【原則数週間～ 1 年未満】
中国 5 県各地で協力隊 OB・OG にも参加していただく「体験談 & 説明会」を下記の通り実施します!!		

【 】内は短期派遣についての報です。

JICA ボランティア・平成 17 年度春募集『体験談 & 説明会』会場一覧表

『体験談 & 説明会』(所要時間: 約 2 時間)は、参加費無料・予約不要・入退室自由です!

青年海外協力隊

県名	日程	会場	開催時間	会場までの交通	住所	電話
鳥取県	4 月 18 日(月)	米子市文花ホール	18:30～	JR 米子駅下車 徒歩 2 分	米子市末広町 58-6	0859-35-4171
	4 月 24 日(日)	鳥取県立県民文化会館	14:00～	JR 鳥取駅下車 徒歩 20 分	鳥取市尚徳町 101-5	0857-21-8700
島根県	4 月 17 日(日)	石中央文化ホール	14:00～	JR 浜田駅下車 徒歩 3 分	浜田市黒川町 4175	0855-22-2100
	5 月 8 日(日)	松江テルサ	14:00～	JR 松江駅下車 徒歩 1 分	松江市朝日町 478-18	0852-31-5550
岡山県	4 月 19 日(火)	岡山国際交流センター	18:30～	JR 岡山駅西口 徒歩 2 分	岡山市奉還町 2 丁目 2-1	086-256-2000
	5 月 7 日(土)	岡山国際交流センター	14:00～	JR 岡山駅西口 徒歩 2 分	岡山市奉還町 2 丁目 2-1	086-256-2000
	5 月 15 日(日)	倉敷市芸文館	14:00～	JR 倉敷駅下車 徒歩 15 分	倉敷市中央 1 丁目 18-1	086-434-0400
広島県	4 月 12 日(火)	広島大学 大学会館	18:30～	JR 西条駅よりバス 15 分、大学会館前バス停下車	東広島市鏡山 1	082-422-7111
	4 月 23 日(土)	広島市まちづくり市民交流プラザ	14:00～	広電袋町電停下車 徒歩 3 分	広島市中区袋町 6-36	082-545-3911
	5 月 11 日(水)	広島市まちづくり市民交流プラザ	18:30～	広電袋町電停下車 徒歩 3 分	広島市中区袋町 6-36	082-545-3911
	5 月 14 日(土)	広島県民文化センターふくやま	14:00～	JR 福山駅下車 徒歩 4 分	福山市東桜町 1-21	0849-21-9200
山口県	4 月 15 日(金)	海峡メッセ下関	18:30～	JR 下関駅下車 徒歩 7 分	下関市豊前田町 3 丁目 3-1	0832-31-5600
	4 月 16 日(土)	スターピアくたまつ	14:00～	JR 下松駅下車 徒歩 15 分	下松市中央町 21-1	0833-41-6800
	5 月 8 日(日)	ばるるプラザ山口	14:00～	JR 山口駅、山口駅バス停下車 徒歩 1 分	山口市惣太夫町 1-15	083-934-3333

シニア海外ボランティア

県名	日程	会場	開催時間	会場までの交通	住所	電話
鳥取県	4 月 24 日(日)	鳥取県立県民文化会館	10:30～	JR 鳥取駅下車 徒歩 20 分	鳥取市尚徳町 101-5	0857-21-8700
島根県	5 月 8 日(日)	松江テルサ	10:30～	JR 松江駅下車 徒歩 1 分	松江市朝日町 478-18	0852-31-5550
	5 月 7 日(土)	岡山国際交流センター	10:30～	JR 岡山駅西口 徒歩 2 分	岡山市奉還町 2 丁目 2-1	086-256-2000
岡山県	5 月 15 日(日)	倉敷市芸文館	10:30～	JR 倉敷駅下車 徒歩 15 分	倉敷市中央 1 丁目 18-1	086-434-0400
	4 月 23 日(土)	広島市まちづくり市民交流プラザ	10:30～	広電袋町電停下車 徒歩 3 分	広島市中区袋町 6-36	082-545-3911
広島県	5 月 11 日(水)	広島市まちづくり市民交流プラザ	18:30～	広電袋町電停下車 徒歩 3 分	広島市中区袋町 6-36	082-545-3911
	5 月 14 日(土)	広島県民文化センターふくやま	10:30～	JR 福山駅下車 徒歩 4 分	福山市東桜町 1-21	0849-21-9200
	4 月 16 日(土)	スターピアくたまつ	10:30～	JR 下松駅下車 徒歩 15 分	下松市中央町 21-1	0833-41-6800
山口県	5 月 8 日(日)	ばるるプラザ山口	10:30～	JR 山口駅、山口駅バス停下車 徒歩 1 分	山口市惣太夫町 1-15	083-934-3333

お問い合わせは、JICA 中国国際センター業務第 2 チーム ボランティア係まで!
電話: 082(421)6310 FAX: 082(420)8082 E-mail: jicacic-jocv@jica.go.jp

2005 年 2 月 14 日現在(JICA 中国作成)

JICA
ボランティア
派遣人数
(現在派遣中)

県名	青年海外協力隊	シニア海外ボランティア	日系社会青年ボランティア	日系社会シニアボランティア	合計
鳥取県	13	1	0	0	14
島根県	19	2	2	0	23
岡山県	35	7	4	0	46
広島県	52	12	2	2	68
山口県	30	6	1	0	37

お問い合わせ

JICA 中国
独立行政法人国際協力機構 中国国際センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山 3-3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL: 082-421-6300 FAX: 082-420-8082
E-mail: jicacic@jica.go.jp
URL: http://www.jica.go.jp/branch/cic/index.html

